

第67回大阪矯正管区教誨師研修会

- 1 実施年月日 令和元年11月22日(金)
- 2 会 場 和歌山市 ホテルグランヴィア和歌山
- 3 参加者 教誨師 103名 矯正施設関係者 69名 その他 8名
計 180名
- 4 主 題 「安らぎの心を求めて」
副 題 「“気づき”を生む教誨」
- 5 講 演
高野山大学准教授 和歌山県臨床心理士会長
上野和久氏
「生きる力を求めて
～こころとからだの会話～」
株式会社信濃路
代表取締役 西平都紀子氏
「和敬喜心を胸に」



6 研修成果

上野講師の「生きる力を求めて～こころとからだの会話～」と題した講話では、言葉以外でのコミュニケーションの在り方について、また、過去に体験されたトラウマが心と身体に与える影響等について、臨床心理学的な知見や脳科学的な知見から解説があり、深い記憶の傷となるような心の傷を持った被収容者と対峙する上で必要な知識や心構えを学ぶことができた。

西平講師による「和敬喜心を胸に」と題した講話では、病気で両親を失ったつらさを乗り越えて人の命を救える仕事に就きたいと話す少女の体験発表の様子や、西平講師自身の幼少期から代表取締役に就任するまでの苦悩に満ちた人生につ

いて紹介され、つらい境遇に遭ってもひたむきな気持ちを大切にしながら前向きに生きることの素晴らしさを実感するとともに、絶望的な時にこそ支えとなってくれる人々との出会いが生きる糧となるということを改めて認識することとなった。

両名の講話はどちらも「関わり」「つながり」がキーワードになっており、



拝聴したことで、人は一人では生きていけない、人は人によって癒され生かされているのだという、当たり前ではあるが教誨活動の心にも通じる認識を新たにする事となった。また、それぞれの今後の教誨活動がより一層の“安らぎの心”や“気づき”を与えられるような場となるために、各自が研鑽を積むための第一歩となった

